

GMO INTERNET GROUP

2023年12月期 第1四半期決算説明会 質疑応答の要約

2023年5月11日に開催した決算説明会において、参加者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。GMOインターネットグループCFOの安田、グループ執行役員の稲垣、GMOアドパートナーズ代表取締役の橋口より回答させていただきました。なお、一部IR部門にて回答を補足させていただいております。

●連結

【Q1】 前期に一時的要因もあったことから、15期増収増益達成の可能性についてマーケットから懐疑的な見方もあるが、施策等はあるか？

【A1】 マネジメントとしても15期連続増益は達成したいという強い意志を持っています。1Qもタイ証券の引当金の影響を除くと、前年を上回る水準で推移できていると考えています。岩盤ストック収益の積み上げ、金融事業の収益性改善を主軸に増収増益を目指します。
(安田)

【Q2】 GMOペパボのFREENANCE事業での滞留債権の発生、タイの証券事業での貸倒引当金の計上に加え、暗号資産交換事業では低調な状態が続いています。グループ全体として、金融事業に対するスタンスに変更などはありますか？

【A2】 基本的なスタンスは不変です。FREENANCE事業、タイの証券事業については、それぞれの事業に応じたリスク管理態勢を強化してまいります。暗号資産交換事業については、暗号資産市場がポテンシャルある領域であるという見方は変えておりません。然るべき時にしっかり利益を出せるよう淡々と体制を構築してまいります。
(安田)

●インフラ事業

【Q3】 インフラの売上成長が21%増と強い数字だったが、持続可能性についてはどのように考えればよいですか？

【A3】 インフラの収益モデルは岩盤ストック収益ということもあり、持続的な収益モデルです。1Qはこうした収益に加え、GMOフィナンシャルゲートの大口案件、イエアエの連結効果かつ需要期という一時的な影響もあり、強めの数字が出ています。
(安田)

【Q4】 イエアエのPL影響はどうなっているか？

【A4】 イエアエ個社では1Qは需要期ということもあり、売上15億、営業利益3億と黒字化しています。のれんなどの償却2億円があり、セグメントでは1億の利益押し上げ要因となりました。
(稲垣)

【Q5】 「GMOサイバー攻撃ネットde診断」について、アカウント数、引き合いなどはどうなっているか？

【A5】 ローンチしてから間もないことから、具体的な数字を申し上げる段階ではありませんが、現場から日々報告される数字には手応えを感じています。投資家の皆さんにも然るべき段階でご報告させていただきます。
(安田)

GMO INTERNET GROUP

【Q6】 価格改定の業績影響が軽微としているが、詳しく教えて欲しい

【A6】 期間按分されるため、短期的な業績影響は軽微としています。期が進むと段階的に影響が現れてまいります。
(安田)

【Q7】 今回の資料でメイクシヨップでの価格改定が追加されているが、今後他のプロダクトでも順次価格改定の発表があるのか？

【A7】 円安や半導体不足にまつわる原価高騰についてはまず企業努力で補うというのが基本的な考えです。しかしながら企業努力で補えないレベルの高騰は残念ながら価格に転嫁させていただかざるを得ないと考えています。現在の状況であれば価格改定の必要はないと考えるが更なる円安等あれば対応が必要になる場合もあります。

●金融

【Q8】 タイ証券事業の影響を除くと最高業績を更新していたことになるが、要因はなにか？

【A8】 前年第4四半期から取り組んでいるFXの収益性改善施策の影響が大きいです。また、CFDについても、ボラティリティの高まりを受け、引き続き好調に推移しています。
(安田)

●広告メディア

【Q9】 増収減益となっているが、コスト増の要因は何か？

【A9】 マージンの低下は見られていません。コストについては人件費、開発投資など継続的なものに加え、採用費や広告配信費といった一時的な要因の影響が大きくなりました。
(橋口)

【Q10】 株式市場では、今後の広告市況を不安視する声があるが、どう見ているか？

【A10】 経済活動の状況もあり、一部業種で慎重な動きが見られるのは確かです。しかし、広告市場のデジタルシフトは、コロナが明けて、むしろ加速している状況です。既存のマス広告の代替として、ネット広告を活用する動きは広がっており、期待感のほうを上回っています。
(橋口)

●暗号資産

【Q11】 暗号資産マイニング事業のハッシュレートの状況は？

【A11】 ハッシュレートについては、1Qは平均すると300PH/sほどで推移しました。足元では稼働率が一時的に低下しており、200PH/s台で推移しています。
(橋口)

●その他

【Q12】 ChatGPTについて、現時点において社内で考えているポジティブ、ネガティブな影響はどんなものがあるか？

GMO INTERNET GROUP

- 【A12】 現時点で事業面にネガティブな影響はありません。むしろチャンスと捉え、グループを挙げて業務効率化、サービスへの導入、プロダクトの開発に取り組んでいるところです。
(安田)
- 【Q13】 人への投資について、「新卒年収710万プログラム」も始まっているが、中長期的な人件費の推移のイメージを教えて欲しい。
- 【A13】 給与については、事業の拡大、生産性の向上を通じた利益成長の結果をパートナー（従業員）に還元するというのが基本的な考え方です。AIの活用によって、今後もこの取り組みを加速させていきたいと考えています。
(安田)
- 【Q14】 対前四半期で人件費が減っているが要因はなにか？
- 【A14】 22Q4は業績連動の賞与の計上があったことによるものです。
(稲垣)

以上